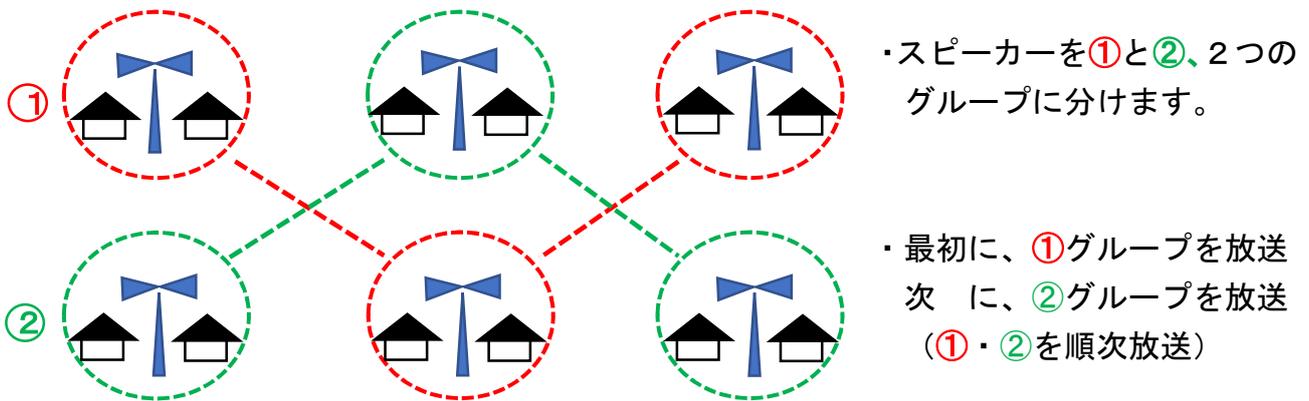


防災行政無線「時差放送」の試験運用について

これまで全てのスピーカーを同時に鳴らす「一斉放送」を実施してきましたが、隣接するスピーカーの反響音などにより、放送の聞き取りにくい場所がありました。

そこで、放送の聞き取りやすさの向上を図るため、スピーカーを2つのグループに分け、グループごとに順次放送を行う「時差放送」の試験運用を実施しています。

「時差放送」のイメージ（例）



【放送区分】

- ① 時差放送：新型コロナウイルス感染症や熊の注意喚起放送など
- ② 一斉放送：定時のミュージックチャイムや緊急地震速報などの緊急放送

【注意事項】

場所によっては、放送が2回聞こえることがありますが、**故障などではありませんので**ご理解をお願いいたします。